



認知症に対する 医工連携

「あらあ、お父さん、
またテレビの通販で商品
まとめ買いしちゃっ
たー」と認知症のある患
者さんの娘さんから、た
こついつた衝動買いを止



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつば
らホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

める薬剤は残念ながらな
く、自宅には一人では置
けないと老人ホームにそ
の方は入られました。
先日、認知症学会で、
KAERUという、あら
かじめお金を定額入れて
おき、1日に使える額を
家族が設定できるカード
があると発表がありまし
た。このときに先程の患
者さんを思い出し、日々
使えるお金の上限をさま
ざまな形で決めてあれ
ば、この患者さんは家で
もっと過ごせたらどう
なあと感じさせられまし
た。医療をやっていると
医療の世界のただけで物

びたび相談を受けること
がありました。
「家族の対策としては
来てしまった商品を返す
とか、そういったことし
かできません。日頃の診
察でも「見てください
と思わないでください
ね」とお伝えしても、こ
ういったアドバイスはど
こ吹く風、同じことが繰
り返されてしまいます。
者さんを思い出し、日々
使えるお金の上限をさま
ざまな形で決めてあれ
ば、この患者さんは家で
もっと過ごせたらどう
なあと感じさせられまし
た。医療をやっていると
医療の世界のただけで物
ごとを考えてしまいがち
ですが、医療や介護の問
題に対してさまざまな
ジャンルから知を集結す
れば、より創造的に在宅
で認知症の方を支えられ
るようになるのかもしれ
ません。また、認知症の
方も安心して暮らせる街
になるんじゃないかと思
いました。

[まつばらホームクリニック]
☎ 042-439-1250
matsubarahomeclinic@gmail.com
西東京市東町 4-14-18-2F
■電話対応：午前 9:00～午後 6:00
■定休日：土日（祝日は診療）
■訪問地域：西東京市、東久留米・
新座・練馬の一部
まつばらホームクリニック  検索